



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2025年8月5日  
東

上場会社名 JX金属株式会社 上場取引所

コード番号 5016 URL <https://www.jx-nmm.com/>代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 陽一  
コーポレート問合せ先責任者 (役職名) コミュニケーション部 (氏名) 米山 学 (TEL) 03-6433-6088  
開示担当課長

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する 四半期利益		四半期 包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	191,276	12.1	29,558	21.8	28,459	21.3	23,242	32.7	18,865	27.8	12,585	△69.8
2025年3月期第1四半期	170,626	△56.6	24,266	△42.0	23,453	△41.5	17,515	△37.7	14,759	△40.7	41,695	101.4

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2026年3月期第1四半期	20	35	20	32
2025年3月期第1四半期	15	90	15	90

## (2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%	
2026年3月期第1四半期	1,276,644	704,592	606,992	47.5				
2025年3月期	1,283,002	711,754	615,297	48.0				

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
2025年3月期	円	銭	円	銭	円	銭
2026年3月期	—	—	91.55	18.00	109.55	—
2026年3月期(予想)	—	6.00	—	12.00	18.00	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正に関する事項については、本日発表の「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」及び添付資料の4ページをご参照ください。

(注2) 当社は、前第3四半期において、2024年11月11日付取締役会の決議に基づき、同年11月29日を効力発生日として、1株当たり配当金91円55銭、配当金総額85,000百万円の配当を実施しています。

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する 当期利益		基本的 1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	760,000	6.3	110,000	△2.2	104,000	△3.2	87,000	6.9	70,000	2.5	75	49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正に関する事項については、本日発表の「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」及び添付資料の3ページをご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	928,463,102株	2025年3月期	928,463,102株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,219,500株	2025年3月期	1,219,500株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	927,243,602株	2025年3月期1Q	928,463,102株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項(将来に関する記述についてのご注意)

本資料には、将来見通しに関する記述が含まれていますが、実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。かかる要因としては、

- (1) マクロ経済の状況又は資源・素材業界における競争環境の変化  
 (2) 法律の改正や規制の強化  
 (3) 訴訟等のリスク など

が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

※ 対前期(対前年同四半期)増減率について、当期(当四半期)・前期(前年同四半期)の一方若しくは両方がマイナスとなる場合や、増減率が1,000%以上となる場合は「ー」を記載しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(要約四半期連結損益計算書) .....	7
(要約四半期連結包括利益計算書) .....	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(適用される財務報告の枠組み) .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等の注記) .....	11
(要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2025年4月1日～2025年6月30日)においては、世界経済は、米国関税政策や中東地域を巡る地政学リスクの高まりにより先行きの不透明感が増し、世界経済成長率は鈍化傾向にあり、景気の下振れリスクが高まりました。国内経済は、所得改善の動きが続くなかで個人消費が堅調に推移するなど緩やかな回復傾向にあるものの、世界経済の減速や米国関税政策による不透明感の影響を受け、成長ペースは鈍化しました。

円対米ドル相場は、米国関税政策による不透明感等の影響で一時140円台まで円高が進みましたが、その後日米通商交渉が進展しなかったことや日米金利差縮小の期待も高まらなかったなどの要因により円安に転じました。当第1四半期末には145円、期平均では前年同期比11円高の145円となりました。

銅の国際価格(LME〔ロンドン金属取引所〕価格)は、期初は1ポンド当たり438セントから始まり、当第1四半期末には455セント、期平均では前年同期比11セント安の432セントとなりました。2025年年初以降、米国の銅に対する関税賦課懸念を背景にCOMEX(ニューヨーク商品取引所)銅価格が上昇し、それに伴いLME価格も連動して上昇しました。その後も米国の関税賦課懸念に伴う駆け込み需要等による現物需給タイト化や、中東情勢悪化懸念の後退を背景に堅調に推移しました。

このような経営環境のなか、当社グループを取り巻く事業環境は、米国関税政策をはじめとした市場全体の不確実性が依然として高いなかでも、半導体や情報通信材料市場でAI関連が成長の牽引役となって急激に成長しています。なかでも、生成AIの学習や推論に用いられる高機能AIサーバ関連の需要が旺盛です。その他エレクトロニクス市場においては、スマートフォンやパソコン・タブレットはWindows 11への移行や老朽化による買換え需要が継続し、分野ごとに濃淡が見られるものの安定的に成長しています。

当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、円高や銅価下落に伴う減収要因はあるものの、半導体用スパッタリングターゲットや圧延銅箔等の主力製品の増販等を主因として、前年同期比12.1%増の1,913億円となりました。営業利益は、前年同期比53億円増の296億円となりました。金融収益と金融費用の純額11億円を差し引いた結果、税引前四半期利益は、前年同期比50億円増の285億円となり、法人所得税費用52億円を差し引いた四半期利益は、前年同期比57億円増の232億円となりました。なお、四半期利益の内訳は、親会社の所有者に帰属する四半期利益が189億円、非支配持分に帰属する四半期利益が44億円となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりです。

#### [半導体材料セグメント]

円高による減収要因はあるものの、AI関連需要の拡大に伴い、先端ロジック半導体やデータ生成量の増加に対応する大容量データ保存、データ通信高速化等の需要が高まりました。これにより、半導体用スパッタリングターゲットをはじめとする主要製品の増販を主因に、前年同期比増益となりました。

こうした状況のもと、半導体材料セグメントの当第1四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比1.3%増の388億円となりました。営業利益は前年同期比5億円増の85億円となりました。

#### [情報通信材料セグメント]

円高による減収要因はあるものの、スマートフォンの需要回復を受けた圧延銅箔の増販、及びAIサーバ用途における当社高機能銅合金の採用拡大により、前年同期比増益となりました。これに加えて、収益性向上、生産性改善等を目的に推進した収益構造改革の推進及び2024年8月に実施したタツタ電線株式会社の連結子会社化による影響も増益に寄与しています。

こうした状況のもと、情報通信材料セグメントの当第1四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比50.2%増の782億円となりました。営業利益は前年同期比31億円増の77億円となりました。

#### [基礎材料セグメント]

円高、銅価下落、及び2024年7月に実施したSCM Minera Lumina Copper Chile株式の一部譲渡による持分法投資利益の一部剥落を主因に前年同期比減益となりました。また、金属・リサイクル事業においては、足許の買値条件が著しく悪化していることから、当社グループが運営する製錬所において減産措置を実施する方向で検討を開始いたしました。

こうした状況のもと、基礎材料セグメントの当第1四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比7.3%減の750億円となりました。営業利益は前年同期比23億円減の146億円となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

- ① 資産 当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、営業債権及びその他の債権、持分法で会計処理されている投資の減少等により、前連結会計年度末比64億円減少の1兆2,766億円となりました。
- ② 負債 当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、営業債務及びその他の債務の減少等がありましたが、借入金の増加等により、前連結会計年度末比8億円増加の5,721億円となりました。  
有利子負債残高は、前連結会計年度末比300億円増加の3,312億円となり、また、手元資金等を控除したネット有利子負債は同250億円増加の2,680億円となりました。
- ③ 資本 当第1四半期連結会計期間末における資本合計は、その他の資本の構成要素の減少等により、前連結会計年度末比72億円減少の7,046億円となりました。

なお、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末比0.4ポイント減少し47.5%、1株当たり親会社の所有者帰属持分は前連結会計年度末比8.96円減少の654.62円、ネットD/Eレシオ（ネット・デット・エクイティ・レシオ）は前連結会計年度末比0.05ポイント上昇し、0.44倍となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

## ① 連結業績予想の修正

連結業績予想につきましては、スマートフォン及びA Iサーバ用途での情報通信材料セグメントの製品需要が、前回予想を上回るペースで拡大していること、米国関税影響額の縮小を織り込んだこと、円の対ドル相場及び銅価格が前回予想の前提より高水準で推移していることを踏まえ、以下のとおり、2025年5月9日に公表した2026年3月期の通期連結業績予想を修正いたします。なお、本連結業績予想は、銅の国際価格（LME価格）；1ポンド当たり427セント（7月以降425セント）、円の対米ドル相場；141円（7月以降140円）を前提としています。

連結業績予想の修正に関する詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2026年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
前回発表予想（A） （2025年5月9日発表）	百万円 740,000	百万円 95,000	百万円 88,000	百万円 58,000	円 銭 62.47
今回修正予想（B）	760,000	110,000	104,000	70,000	75.49
増減額（B－A）	20,000	15,000	16,000	12,000	13.02
増減率（%）	2.7	15.8	18.2	20.7	20.8
（ご参考）前期実績 （2025年3月期）	714,940	112,484	107,476	68,271	73.53

## ② 配当予想の修正

当社の配当方針は、連結配当性向20%程度を基本とした上で、当社の想定対比で銅価が上昇した結果として、ベース事業の利益が上振れた分については、その一部も株主に還元することとしています。

通期連結業績予想の修正に伴い、2025年5月9日に公表した年間配当予想を1株当たり15円から18円(中間配当6円、期末配当12円)に修正いたします。

配当予想の修正に関する詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

	年間配当額				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2025年5月9日発表)	円 銭 —	円 銭 6.00	円 銭 —	円 銭 9.00	円 銭 15.00
今回修正予想	—	6.00	—	12.00	18.00
当期実績 (2026年3月期)	—	—	—	—	—
前期実績 (2025年3月期)	—	—	91.55	18.00	109.55

(注) 当社は、前第3四半期において、2024年11月11日付取締役会の決議に基づき、同年11月29日を効力発生日として、1株当たり配当金91円55銭、配当金総額85,000百万円の配当を実施いたしました。

(将来に関する記述について)

本資料には、将来見通しに関する記述が含まれていますが、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づいています。実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	58,316	63,239
営業債権及びその他の債権	138,259	132,607
棚卸資産	273,187	273,569
その他の金融資産	6,334	7,277
その他の流動資産	18,139	18,224
流動資産合計	494,235	494,916
非流動資産		
有形固定資産	371,782	373,298
のれん	8,198	7,848
無形資産	19,521	18,955
持分法で会計処理されている投資	319,950	311,910
その他の金融資産	41,435	41,840
繰延税金資産	26,730	26,770
その他の非流動資産	1,151	1,107
非流動資産合計	788,767	781,728
資産合計	1,283,002	1,276,644

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	92,826	78,316
借入金	120,717	151,518
リース負債	3,279	3,310
未払法人所得税	12,434	3,652
その他の金融負債	4,322	5,307
引当金	2,515	3,043
その他の流動負債	41,832	35,561
流動負債合計	277,925	280,707
非流動負債		
借入金	180,542	179,708
リース負債	16,715	15,936
その他の金融負債	14,362	14,992
退職給付に係る負債	27,261	27,520
引当金	28,277	26,974
繰延税金負債	23,210	23,366
その他の非流動負債	2,956	2,849
非流動負債合計	293,323	291,345
負債合計	571,248	572,052
資本		
資本金	75,000	75,000
資本剰余金	48,093	47,514
利益剰余金	432,121	434,302
自己株式	△1,000	△1,000
その他の資本の構成要素	61,083	51,176
親会社の所有者に帰属する持分合計	615,297	606,992
非支配持分	96,457	97,600
資本合計	711,754	704,592
負債及び資本合計	1,283,002	1,276,644

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	170,626	191,276
売上原価	135,653	149,287
売上総利益	34,973	41,989
販売費及び一般管理費	25,221	25,917
持分法による投資利益	15,153	13,643
その他の収益	1,012	1,386
その他の費用	1,651	1,543
営業利益	24,266	29,558
金融収益	469	687
金融費用	1,282	1,786
税引前四半期利益	23,453	28,459
法人所得税費用	5,938	5,217
四半期利益	17,515	23,242
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	14,759	18,865
非支配持分	2,756	4,377
四半期利益	17,515	23,242
		(単位：円)
1 株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	15.90	20.35
希薄化後1株当たり四半期利益	15.90	20.32

## (要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期利益	17,515	23,242
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	800	773
確定給付制度の再測定	△9	△14
持分法適用会社におけるその他の包括利益	39	23
合計	830	782
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の為替換算差額	26,921	△12,499
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△3,795	△353
持分法適用会社におけるその他の包括利益	224	1,413
合計	23,350	△11,439
その他の包括利益合計	24,180	△10,657
四半期包括利益	41,695	12,585
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	34,351	10,893
非支配持分	7,344	1,692
四半期包括利益	41,695	12,585

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益 剰余金	その他の資本の構成要素	
				その他の包括利益を 通じて公正価値で測 定する金融資産	キャッシュ ・フロー・ ヘッジ
2024年4月1日残高	75,000	46,750	446,945	2,835	△3,130
四半期利益	—	—	14,759	—	—
その他の包括利益	—	—	—	871	△3,571
四半期包括利益合計	—	—	14,759	871	△3,571
剰余金の配当	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	△38	—	—
非金融資産等への振替	—	—	—	—	3,381
その他の増減	—	△1,304	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△1,304	△38	—	3,381
2024年6月30日残高	75,000	45,446	461,666	3,706	△3,320

	その他の資本の構成要素					
	在外営業活動体の 為替換算差額	確定給付制度の 再測定	合計	親会社の所有者に 帰属する持分合計	非支配 持分	資本合計
2024年4月1日残高	58,988	—	58,693	627,388	93,414	720,802
四半期利益	—	—	—	14,759	2,756	17,515
その他の包括利益	22,330	△38	19,592	19,592	4,588	24,180
四半期包括利益合計	22,330	△38	19,592	34,351	7,344	41,695
剰余金の配当	—	—	—	—	△693	△693
利益剰余金への振替	—	38	38	—	—	—
非金融資産等への振替	—	—	3,381	3,381	—	3,381
その他の増減	—	—	—	△1,304	434	△870
所有者との取引額等合計	—	38	3,419	2,077	△259	1,818
2024年6月30日残高	81,318	—	81,704	663,816	100,499	764,315

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2025年4月1日残高	75,000	48,093	432,121	△1,000	4,751	△700
四半期利益	—	—	18,865	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	806	1,097
四半期包括利益合計	—	—	18,865	—	806	1,097
剰余金の配当	—	—	△16,712	—	—	—
株式報酬取引	—	73	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	28	—	△49	—
非金融資産等への振替	—	—	—	—	—	△1,907
その他の増減	—	△652	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△579	△16,684	—	△49	△1,907
2025年6月30日残高	75,000	47,514	434,302	△1,000	5,508	△1,510

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の為替換算差額	確定給付制度の再測定	合計			
2025年4月1日残高	57,032	—	61,083	615,297	96,457	711,754
四半期利益	—	—	—	18,865	4,377	23,242
その他の包括利益	△9,854	△21	△7,972	△7,972	△2,685	△10,657
四半期包括利益合計	△9,854	△21	△7,972	10,893	1,692	12,585
剰余金の配当	—	—	—	△16,712	△650	△17,362
株式報酬取引	—	—	—	73	—	73
利益剰余金への振替	—	21	△28	—	—	—
非金融資産等への振替	—	—	△1,907	△1,907	—	△1,907
その他の増減	—	—	—	△652	101	△551
所有者との取引額等合計	—	21	△1,935	△19,198	△549	△19,747
2025年6月30日残高	47,178	—	51,176	606,992	97,600	704,592

## (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(適用される財務報告の枠組み)

当社グループの要約四半期連結財務諸表（要約四半期連結財政状態計算書、要約四半期連結損益計算書、要約四半期連結包括利益計算書、要約四半期連結持分変動計算書及び注記）は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第5条第2項（ただし、同基準第5条第5項に定める記載の省略を適用）に準拠して作成しており、国際会計基準第34号「期中財務報告」で求められる開示項目及び注記の一部を省略しています。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象です。

当社グループでは、当社において設置された製品・サービス別の事業セグメントが、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。

したがって、当社グループは、製品・サービス別の事業セグメントから構成されていますが、製品・サービスの特性及び販売市場の類似性に基づき、複数の事業セグメントを集約したうえで、「半導体材料」、「情報通信材料」及び「基礎材料」の3つを報告セグメントとし、他の事業セグメントを「その他」としています。

各報告セグメント区分の主な製品・サービス又は事業内容は、次のとおりです。

半導体材料	半導体用スパッタリングターゲット、化合物半導体・結晶材料、塩化物等の製造・販売
情報通信材料	圧延銅箔、チタン銅、超微粉ニッケル、電磁波シールドフィルム、電線等の製造・販売
基礎材料	リサイクル原料の集荷・販売、電気銅の受託製錬、貴金属等の製造・販売・受託製錬

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失及びその他の項目

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位：百万円)

	半導体材料	情報通信材料	基礎材料	合計	その他	調整額 (注4)	連結
売上高							
外部顧客への売上高 (注1)	38,201	51,185	80,483	169,869	757	—	170,626
セグメント間の内部売上高 又は振替高(注2)	128	855	431	1,414	1,434	△2,848	—
計	38,329	52,040	80,914	171,283	2,191	△2,848	170,626
セグメント利益又は損失 (△)(注3)	8,055	4,538	16,877	29,470	△25	△5,179	24,266
金融収益							469
金融費用							1,282
税引前四半期利益							23,453

(注) 1. 外部顧客への売上高には、顧客との契約から生じた収益及びその他の源泉から生じた収益が含まれていません。

2. 報告セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいています。

3. セグメント利益又は損失は、要約四半期連結損益計算書における営業利益で表示しています。

4. セグメント利益又は損失の調整額△5,179百万円には、各報告セグメント及び「その他」の区分に配分していない全社収益・全社費用の純額△4,536百万円が含まれています。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位:百万円)

	半導体材料	情報通信 材料	基礎材料	合計	その他	調整額 (注4)	連結
売上高							
外部顧客への売上高 (注1)	38,701	77,217	74,561	190,479	797	—	191,276
セグメント間の内部売上高 又は振替高(注2)	130	952	406	1,488	1,832	△3,320	—
計	38,831	78,169	74,967	191,967	2,629	△3,320	191,276
セグメント利益又は損失 (△)(注3)	8,535	7,654	14,622	30,811	29	△1,282	29,558
金融収益							687
金融費用							1,786
税引前四半期利益							28,459

- (注) 1. 外部顧客への売上高には、顧客との契約から生じた収益及びその他の源泉から生じた収益が含まれていません。
2. 報告セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいています。
3. セグメント利益又は損失は、要約四半期連結損益計算書における営業利益で表示しています。
4. セグメント利益又は損失の調整額△1,282百万円には、各報告セグメント及び「その他」の区分に配分していない全社収益・全社費用の純額△1,631百万円が含まれています。

(要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費及び償却費は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費及び償却費	10,240百万円	10,742百万円